

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 公共交通ネットワークの充実
-----	-----------------

施策主管課	交通政策課	総合計画記載頁	154ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	政策の達成目標 (基本施策目標)	総合的な交通体系の構築により、公共交通や自動車、自転車などのあらゆる交通手段が相互に連携した、円滑で利便性が高く、安全で、ひとや環境にもやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

施策目標	誰もが円滑に移動できる公共交通ネットワークが形成されています。
------	---------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	年間公共交通利用者数(千人)	単年度目標値	30,720	32,695	34,670	36,645	38,620			40,589	B	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	32.3%	28.6%	33.4%	
実績値			31,148	31,844	32,409	32,643	33,145	33,510	前年度からの増減	-3.7pt	4.8pt				-13.4pt	7.8pt	-2.7%		
目標値(H29)		40,589	単年度の達成度	101.4%	97.4%	93.5%	89.1%	85.8%	82.6%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)					B				
指標2	一日あたりの利用者数(人)	単年度目標値	84,165	89,575	94,986	100,397	105,808	111,203	B	【参考】 中核市等との水準比較	1日当たりの路線バスの利用者数/市民千人あたり(人)	中核市平均	87.4	83.3	81.2	82.5	89.7	89.5	/
		実績値	69.8	69.6	72.5	72.5	70.8	72.8											
	中核市での本市の順位	19位/41市中	18位/41市中	18位/42市中	17位/43市中	20位/45市中	19位/48市中												
ノンステップバスの導入率(%)	中核市平均	30.3	33.0	35.0	38.1	44.4	42.4	/											
	実績値	31.9	33.1	37.9	39.7	43.4	46.5												
中核市での本市の順位	17位/41市中	19位/41市中	16位/42市中	14位/43市中	19位/45市中	18位/48市中													

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 削減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割超が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況	
---------------------	--

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通政策基本法や改正地域公共交通活性化再生法の施行などにより、地方自治体を中心となって公共交通ネットワークの維持・充実を図ることが求められている。</li> <li>高齢者人口の増加に伴い、高齢ドライバーの操作ミスなどが原因となった自動車事故や高齢者の運転免許返納件数も増加しており、誰もが利用しやすく、利便性の高い公共交通ネットワークの構築がより一層求められている。</li> <li>LRTをはじめとする公共交通ネットワークの整備を契機として、公共交通の利用促進のみならず、産業・経済の活性化などの魅力あるまちづくりを推進する「交通未来都市うつのみや」について、広く市民の理解促進を図る必要性が高まっている。</li> </ul>	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス路線の維持・充実や地域内交通の導入地区の拡大、JR岡本駅周辺整備等による交通結節点の充実など、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築に取り組んでいるところであるが、高齢化の更なる進行に加え、環境負荷の低減や災害に強い交通環境の整備等に対する市民意識の変化など、公共交通への要求水準が高まっていることから、近年、市民満足度は低水準で推移している。</li> </ul>	総合評価	75点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤字バス路線の維持・存続やバス路線の新設・拡充、郊外部における地域内交通の導入など、公共交通ネットワークの充実に向けて交通事業者や地域住民と一体となって取り組んできたことに加え、ノンステップバスやバスロケーションシステム等の導入に対する支援など、利便性向上にも取り組んできたことから、公共交通の利用者数は平成23年度以降増加傾向にあるものの、目標値を下回っている。</li> </ul>				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H29事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	都市交通戦略の推進		「宇都宮都市交通戦略」の効果的・効率的な推進	市民, 交通事業者, 行政	都市交通戦略に掲げる施策・事業等の進行管理	計画どおり	125	H21		目指す都市交通の将来像の実現に向けて, 引き続き, 都市交通戦略に掲げた各施策・事業の進捗状況等を確認しながら, 効果的かつ効率的に都市交通戦略の推進を図る。 また, 将来を見据えた交通施策の展開に向けて, LRT整備やバス路線再編などの公共交通ネットワーク構築の取組の進捗に加え, 少子・高齢化の進展や観光需要の増加・多様化, 科学技術の進歩など, 本市交通を取り巻く環境の変化に的確に対応し, まちづくりとの連携方策を明らかにした「(仮称)第2次宇都宮都市交通戦略」を策定する。
2	LRT整備の推進	○★	LRTの導入	市民, 沿線関係者, 企業	・市民理解の促進 ・各種法定手続き ・導入車両の検討 ・トータルデザインの検討	計画どおり	764,286	H6		JR宇都宮駅東側区間については, 用地取得に取り組むとともに, 鬼怒川橋梁や車両基地などの工事を計画的に実施する。 また, LRT車両については, 専門の検討組織での意見等を踏まえながら, 車両設計を実施するとともに, 市民アンケートを実施するなど, 車両デザインを決定し, 車両の製作に取り組む。 さらに, LRT事業の市民理解促進については, スムーズな工事の進行と開業を見据え, 事業の進捗に合わせた効果的な情報発信と市民協働の取組を実施し, 事業に対する更なる理解と機運の醸成を図る。
3	LRT整備推進事業(JR宇都宮駅横断部)	○	ひとや環境にやさしい快適な都市内移動手段の確保	市民	LRTのJR宇都宮駅横断ルート の検討	計画どおり	13,661	H13		JR宇都宮駅交差区間のLRT整備については, 関係機関との協議や有識者との意見交換を行いながら, 駅横断ルートの確定に向けた検討を実施していく。
4	JR宇都宮駅東側における公共交通ネットワーク再編事業		駅東側における効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築	市民, 交通事業者	・駅東側におけるLRTを基軸とした階層性のある公共交通ネットワークの構築	計画どおり	12,239	H27		LRTを基軸とした階層性のある公共交通ネットワークの構築に向けて, 「JR宇都宮駅東側におけるバス路線再編案(素案)」に基づき, 交通事業者等と協議・調整を行いながら, バス路線再編後の運行経路や運行本数等の詳細について検討を進め, 「地域公共交通再編実施計画(素案)」を取りまとめる。
5	JR宇都宮駅西側における公共交通ネットワーク再編事業		駅西側における効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築	市民, 交通事業者	・駅西側におけるLRT導入に向けた検討 ・LRTを基軸とした階層性のある公共交通ネットワークの構築	計画どおり	62,964	H28		JR宇都宮駅西側のLRT導入については, これまでの調査内容を活用し, 事業化に向けた検討を継続的に行うとともに, 道路管理者や交通管理者, 交通事業者などの関係機関との協議や沿線商店街・市民との意見交換, 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」を活用した有識者からの意見聴取など, 多角的かつ幅広い視点から検討を深め, 整備内容を具体化していく。 また, LRTを基軸とした階層性のある公共交通ネットワークの構築に向けて, 「駅西側における将来の公共交通ネットワークのイメージ」に基づき, 交通事業者等と協議・調整を行いながら, バス路線再編後の運行経路の具体化や運行本数の検討等を行い, 駅西側における「バス路線再編案(素案)」を取りまとめる。
6	生活バス路線維持費補助金	○★	バス路線の維持・存続	市内でバス路線を運行する乗合バス事業者	赤字のバス路線の運行に対する補助	計画どおり	55,628	H14		市民生活の足を確保するため, 引き続き, 国・県と協調しながら, 赤字のバス路線の運行に対する補助を行う。また, 公共交通ネットワークの充実に向けたバス路線再編の実施を見据え, 生活バス路線の維持・充実や利用促進に向けてより効果的な支援が行えるよう, バス事業者等と協議・調整を行いながら, 市単補助制度の見直しに取り組む。
7	上河内地域路線バス運行事業	○	上河内地区における通勤・通学など日常生活の移動手段の確保	上河内地区の住民	上河内地域路線バスの運行	計画どおり	18,998	H13		上河内地域路線バスの持続的な運行に向けて, 当面は, 市が主体となって当該路線を運行するとともに, バス事業者や地域と連携・協力しながら地域ニーズに即した運行内容の見直しや利用促進策を実施する。また, 公共交通ネットワーク全体の利便性・効率性の向上を図るため, 当該路線の一般路線化について検討する。
8	人にやさしいバス等導入促進事業		公共交通のバリアフリー化の推進	市内の生活バス路線に人にやさしいバス(ノンステップバス)を導入する乗合バス事業者及び地域内交通にユニバーサルデザイン(UD)タクシー車両を導入する運行事業者	ノンステップバス及びUDタクシー車両の購入費等に対する補助	計画どおり	21,100	H9		国・県と協調しながら, 引き続き, ノンステップバスやユニバーサルデザイン(UD)タクシー車両の導入を支援するとともに, 地域内交通へのユニバーサルデザイン(UD)タクシー車両の更なる導入拡大に向けて, 運行事業者に対し制度活用の働きかけを行う。また, 平成30年度から, 一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー等)の用に供するユニバーサルデザイン(UD)タクシー車両に対しても, 県と協調しながら導入を支援する。

9	地域内交通運行支援事業	○★	郊外部における日常生活の移動手段の確保	地域住民で組織する運営協議会	・郊外部における地域内交通の導入に向けた支援 ・地域内交通の初度開設費、運行経費、運営経費、利用促進費に対する補助	計画どおり	86,984	H19	独自性	地域内交通の持続可能な運行に向けて、引き続き、運営協議会による地域内交通の運行を支援するとともに、専門家による運行診断や利用促進策の実施に対する補助を行いながら、運行の効率化や利用促進を図る。 また、地区内の一部の区域で地域内交通を先行導入している清原・雀宮・姿川地区における運行区域の拡大に向けて、地域の実情に応じた支援を行う。
10	市街地における生活交通確保事業	○	市街地における日常生活の移動手段の確保	市街地における生活交通の導入に向けた住民検討組織等	市街地における生活交通の導入に向けた支援	計画どおり	4,212	H26		市街地における生活交通の導入に向けて、引き続き、検討組織を設置している石井地区及び峰地区において、「市街地における生活交通確保ガイドライン」に基づき、導入に向けた検討を支援するとともに、その他の地区において、平成29年度に取りまとめた「市街地における生活行動実態調査分析結果」を活用しながら、生活交通確保に関する勉強会や情報提供、アンケート調査など、地域の実情や意向に応じた支援を行う。
11	公共交通利用環境整備促進事業		公共交通利用者の利便性の向上	市内で生活バス路線を運行する乗合バス事業者、企業、団体等	バスの利用環境整備に対する補助	計画どおり	23,105	H15		公共交通利用者の利便性向上を図るため、引き続き、バス事業者や企業・団体等との適切な役割分担のもと、利用者数の多いバス停やバスと地域内交通との乗継ぎポイントとなるバス停などにおける上屋やベンチ、バス接近表示機の整備を支援する。
12	交通ICカードの導入支援事業		公共交通の利便性の向上、定時性の確保	交通事業者	バス3社及びLRT共通の「地域独自カード＋全国相互利用カードの片利用」の導入の支援	計画より遅れ	14,472	H25		公共交通の利便性向上を図るため、市内を運行するバス事業者3社のバス路線とLRT共通で利用できる地域独自の交通ICカードの導入と併せ、全国相互利用カードも利用できるシステムの導入に向けて、交通事業者等と協議・調整を行うとともに、交通事業者におけるシステム開発等を支援する。
13	公共交通利用促進事業		バス路線の充実及び公共交通の利用促進	市民	・新設社会実験実施路線からバス事業者の自主運行へ移行したバス路線の運行費用に対する補助 ・運行実験を行うバス路線の運行費用に対する補助 ・公共交通ネットワークの整備やライフステージの変化等を捉えた利用促進策の実施 ・幹線バスと地域内交通との連携強化策の検討	計画どおり	29,100	H24		新設社会実験実施路線からバス事業者の自主運行へ移行した「今宮線」について、持続的な運行に向けて、引き続き、バス事業者による運行を支援するとともに、平成30年10月からの県単独補助対象路線への移行に向けて、利用状況や収支状況の推移などを把握することに加え、バス事業者が主体となった利用促進策の実施を促す。 運行実験を行う「篠井ニュータウン線」について、持続的な運行に向けて、引き続き、バス事業者による運行を支援するとともに、バス利用者や地域住民のニーズの把握に努めながら、篠井ニュータウン分譲地の販売促進を含めた運行実験の効果等を定期的に検証し、必要に応じて運行計画の見直しを行う。 公共交通の利用促進に向けて、引き続き、自動車から公共交通利用への転換を促すため、バスマップを作成・配布するとともに、LRT沿線企業や学校等と連携しながら、意見交換会や勉強会、バスの乗り方教室を開催するなど、実効性のある取組を推進する。また、LRTを始めとした公共交通ネットワークの構築による市民生活の質の向上の効果を周知・啓発するなど、本市の公共交通の充実に向けた取組に対するより一層の市民理解の促進を図る。 幹線バスと地域内交通の連携強化を図るため、乗継ぎポイントにおける快適な待合環境の整備や乗継ぎ割引などの運賃負担軽減策の導入など、バスと地域内交通との乗継ぎ利便性の向上に取り組む。
14	県央地域公共交通活用促進協議会		県央地域における公共交通の利用促進	県央地域公共交通活用促進協議会	・協議会事務局としての活動 ・協議会活動に要する費用の一部負担	計画どおり	500	H17		広域的な公共交通の利用促進を図るため、アフターDC(デスティネーションキャンペーン)などを見据えながら、平成29年度に引き続き、公共交通で巡る県央地域のモニターツアーを実施し、その成果を活用しながら、協議会のホームページの内容の充実を図り、情報発信やPRに努めるとともに、県央地域における学校モビリティマネジメント(バスの乗り方教室)などの取組を推進する。 また、LRTの整備やバス路線再編、交通ICカード導入などの本市の公共交通の充実に向けた取組について、広域的な連携の観点から協議会において意見交換を行う。
15	JR宇都宮駅西口周辺地区の整備	○★	宇都宮の玄関口としてふさわしい都市基盤や多様な都市機能の集積	市民、来街者及び関係権利者	・LRTルートや駅前広場等の一体的な検討 ・地元まちづくり活動の支援等	計画どおり	12,571	H19		県都の玄関口に相応しい都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。 JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定に向けた検討については、整備基本構想を踏まえるとともに、引き続きLRT等関連事業との整合や地元まちづくり協議会との連携を図りながら取り組んでいく。
16	岡本駅周辺整備事業	○★	地域拠点の形成及び交通結節機能の充実	岡本駅周辺、北東部地域住民及び駅利用者	・岡本駅東西自由通路・橋上駅舎や駅前広場等の整備の推進	計画どおり	127,269	H21		岡本駅東口における利便性の高い駅前広場整備や、良好な駅前景観の形成に向けた電線共同溝整備が計画どおり進捗するよう、関係機関(JR東日本、東京電力、NTT、上下水道局等)と密に協議・調整を行い、効率的に工事を実施し、平成30年度の整備完了を目指す。また、公共交通サービスの充実を図るため、鉄道・バス・タクシーなど交通事業者と連携しながらバス停やタクシー乗り場における上屋やベンチの整備など、交通環境の改善に取り組んでいく。

#### 4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	方向性
<p>◆LRTの整備については、JR宇都宮駅東側区間における円滑な事業の推進に向けて、用地取得や橋梁部などの工事のほか、車両製作などを計画的に進めるとともに、事業に対する更なる市民理解の促進と機運醸成を図る必要がある。また、LRTの整備は、ネットワーク型コンパクトシティの形成を支える基幹となる事業であることから、JR宇都宮駅西側への延伸に向けた検討を進める必要がある。</p> <p>◆バス路線の充実については、LRTや地域内交通と連携した利便性の高いバスネットワークの構築に向けて、バス事業者とともにバス路線の再編に取り組むとともに、再編後のバス路線の維持・充実や利用促進の取組に対する効果的な支援のあり方について検討する必要がある。</p> <p>◆地域内交通の充実については、公共交通空白地域の解消に向けて、未導入自治会が存在する郊外部の一部地区において、運行区域の拡大を図るとともに、既導入地区における持続可能な運行に向けて、運行の効率化や利用促進に取り組む必要がある。また、市街地部においても、既存公共交通との役割分担に配慮しながら、地域の状況に応じた生活交通の確保に取り組む必要がある。</p> <p>◆JR宇都宮西口周辺地区及び岡本駅周辺の整備については、LRTの駅西側への延伸やバス路線の再編を見据え、公共交通間の連携強化を図るため、鉄道やLRT、バス、地域内交通、自動車、自転車等の多様な交通手段の乗継ぎ拠点として、交通結節機能の強化に取り組む必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆円滑で利便性の高い階層性のある公共交通ネットワークを形成するため、「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」や「宇都宮都市交通戦略」に基づき、交通事業者を始めとした関係機関や地域住民等と連携しながら、LRTの整備やバス路線の再編、地域内交通の充実に向けた取組を推進するとともに、乗り継ぎ拠点の整備や交通ICカードの導入支援など、公共交通間の連携強化や利便性向上に向けた取組を推進する。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆LRT整備の推進 LRT整備の推進については、JR宇都宮駅東側区間において、用地取得に取り組むとともに、鬼怒川橋梁や車両基地などの工事を計画的に実施する。また、LRT車両について、専門の検討組織での意見等を踏まえながら車両設計を実施するとともに、市民アンケートを実施するなど、車両デザインを決定し、車両の製作に取り組む。さらに、LRT事業の市民理解促進について、スムーズな工事の進行と開業を見据え、事業の進捗に合わせた効果的な情報発信と市民協働の取組を実施し、事業に対する更なる理解と機運の醸成を図る。加えて、JR宇都宮駅西側のLRT導入について、事業化に向けて多角的かつ幅広い視点から検討を深め、整備内容を具体化していく。</p> <p>◆バス路線の充実 バス路線の充実については、LRTを基軸とした階層性のある公共交通ネットワークの構築に向けて、「JR宇都宮駅東側におけるバス路線再編案(素案)」や「駅西側における将来の公共交通ネットワークのイメージ」に基づき、交通事業者等と協議・調整を行いながらバス路線再編後の運行経路の具体化や運行本数の検討等を行い、駅東側の「地域公共交通再編実施計画(素案)」や駅西側の「バス路線再編案(素案)」を取りまとめる。</p> <p>◆地域内交通の充実 地域内交通の充実については、持続可能な運行に向けて、運行の効率化や利用促進を図りながら、運営協議会による地域内交通の運行を支援するとともに、地区内の一部の区域で先行導入している地区における運行区域の拡大に向けて、地域の実情に応じた支援を行う。また、幹線バスとの乗継ぎポイントにおける待合環境の整備や乗継ぎ割引などの運賃負担軽減策の導入など、バスと地域内交通との乗継ぎ利便性の向上に向けて取り組む。さらに、市街地部における生活交通の導入に向けて、検討組織を設置している地区において、導入に向けた検討を支援するとともに、その他の地区において、生活交通確保に関する勉強会やアンケート調査など、地域の実情や意向に応じた支援を行う。</p> <p>◆JR宇都宮駅西口周辺地区の整備 JR宇都宮駅西口周辺地区については、利便性の高い交通環境の整備に向けて、LRT整備などの関連事業との整合や関係権利者等との連携を図りながら、乗換え利便性の向上策などを盛り込んだJR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画を策定するなど、交通結節機能の強化に取り組む。</p> <p>◆岡本駅周辺整備事業 岡本駅周辺整備事業については、利便性の高い交通環境の整備に向けて、東口駅前広場の整備を推進するとともに、交通事業者と連携しながらバス停やタクシー乗り場における上屋やベンチの整備を行うなど、交通結節機能の強化に取り組む。</p> <p>〈その他個別事業〉</p> <p>◆「交通未来都市うつのみや」の実現に向けた市民理解の促進 公共交通を活用した魅力あるまちづくりを推進するため、市民や企業等に対し、LRTを始めとした公共交通ネットワークの充実に向けた各種取組や将来の公共交通ネットワークのイメージ等について、市民生活や社会に与える効果等も示しながら分かりやすく説明・情報発信を行い、市民理解促進の取組やモビリティ・マネジメントを推進する。</p> <p>◆「(仮称)第2次宇都宮都市交通戦略」の策定 将来を見据えた交通施策の展開に向けて、LRTの整備やバス路線再編などの公共交通ネットワークの構築に向けた取組の進捗や、少子・高齢化の更なる進展、科学技術の進歩など、本市交通を取り巻く環境の変化に対応し、まちづくりとの連携方策について明らかにした「(仮称)第2次宇都宮都市交通戦略」を策定する。</p> <p>◆交通ICカードの導入支援 公共交通の利便性向上を図るため、市内を運行するバス事業者3社のバス路線とLRT共通で利用できる地域独自の交通ICカードの導入と併せ、全国相互利用カードも利用できるシステムの導入に向けて、交通事業者等と協議・調整を行うとともに、交通事業者におけるシステム開発等を支援する。</p>